

第 2 期事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

一般社団法人日本観光自動車道協会

はじめに

本資料は、一般社団法人日本観光自動車道協会（J T R A）の第2期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）事業計画に基づく事業実施結果についてご報告するものです。

J T R Aは、昭和31年に任意団体として発足以来50数年、自動車道の維持と発展のための意見交換の場としての活動に始まり、協会を取り巻く環境の変化に対応するため平成30年12月に一般社団法人として設立登記を行ない、平成31年4月第2期より本格的に業務を実施いたしました。

今期は、第2期事業計画に基づき、J T R A定款に掲げる自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、その目的に資する6項目の事業を実施し、各関連方面との交流ならびに広報活動により、賛助会員10社（令和2年4月16日現在）の賛同を得ることができ、決算も収支黒字となりました。

今期の大きな成果としては、まず7月に環境省の推進する「国立公園満喫プログラム」に基づく「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を環境省と締結できたことです。これにより国立公園及びその周辺のプロモーションとのシナジー効果により、国内外特にインバウンド獲得に大きな効果が期待されるところです。つぎに、(社)日本アセットマネジメント協会と「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の業務協定を締結いたしました。この業務協定を実施し協会アセットを実証フィールドとして提供することにより、アセット維持管理の高度化・効率化とアセットの長寿命化を享受することが期待されます。

調査研究を行う分科会活動については、アセットマネジメント推進委員会とツーリズム委員会の活動を行ってまいりましたが、初年度でもあり各委員会の活動方針を定め、アセットマネジメント推進委員会はアセット維持管理の協会スタンダード策定に向け、ツーリズム委員会は観光自動車道の観光資源の有効活用に向け、来期から本格的に活動を開始する素地が固まりました。

第1号議案 第2期事業報告および決算報告目次

【第2期事業報告書】	1
（1）法人の概況	1
1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 所管官庁	1
5. 会員の状況	1
6. 主たる事業所	1
7. 役員等に関する事項	2
8. 職員に関する事項	2
（2）事業の状況	4
1. 社員総会および理事会	4
2. 分科会	6
3. 事業内容	7
3. 1 日本国内の観光事情についての調査・研究	7
3. 2 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究	7
3. 3 前2号に関する行政諸官庁への意見具申	8
3. 4 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力	8
3. 5 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝	8
3. 6 その他当法人の目的を達成するために必要な事業	8
4. その他事業（外部組織との交流他）	8
【第2期決算報告書】	9
（1）第2期決算報告書	
（2）監査報告書	

【第2期事業報告書】

(1) 法人の概況

1. 設立年月日

昭和31年設立（旧有料道路協会）

平成30年12月3日（一般社団法人日本観光自動車道協会）

2. 定款に定める目的

当法人は、自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、その目的に資するための事業を行う。

3. 定款に定める事業内容

- ① 日本国内の観光事情についての調査・研究
- ② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究
- ③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申
- ④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力
- ⑤ 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝
- ⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

国土交通省自動車局

5. 会員の状況

会員種別	平成31年 3月31日 ①	入会 ②	退会 ③	差引 ②-③	令和2年 3月31日現在 ①+②-③
正会員	17	0	0	17	17
賛助会員	10	10	0	10	10
特別会員	0	0	0	0	0
計	17	10	0	27	27

6. 主たる事業所

〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-12 bizcube7F

7. 役員等に関する事項

役職	氏名	現職
代表理事	中川 均	(株)白糸ハイランドウェイ 顧問
理事	秋月 清二	(株)グランビスタ ホテル&リゾート 取締役
	西崎 一	近畿日本鉄道(株) 取締役専務執行役員
	金田 利幸	奥比叡参詣自動車道(株) 代表取締役社長
	宮脇 栄治	三重県観光開発(株) 代表取締役社長
	稲田 邦実	比叡山自動車道(株) 代表取締役社長
	櫻井 裕一	東京高速道路(株) 取締役道路施設部長
	堀内 光一郎	富士急行(株) 代表取締役社長
	蔭山 一哉	西山ドライブウェイ(株) 代表取締役社長
	谷口 篤	芦有ドライブウェイ(株) 代表取締役社長
	鬼頭 研二	伊豆箱根鉄道(株) 取締役上席執行役員
	酒井 晃	(株)プリンスホテル 一般自動車道 支配人
監事	井上 健三	(株)プリンスホテル 資産管理部 チーフマネジャー
	奥田 壮一	富士急行(株) 事業部 安全・CS グループ グループ長
顧問	久保 成人	公益社団法人日本観光振興協会 理事長
	小林 潔司	一般社団法人日本アセットマネジメント協会 会長

令和2年3月31日現在

8. 職員に関する事項（令和2年3月31日現在）

職員数1名（非常勤）

財務経理業務委託先：時原会計株式会社

正会員 (17 社)	
(株)札幌振興公社	富士急行(株)
(株)岩木スカイライン	三重県観光開発(株)
宮城交通(株)	奥比叡参詣自動車道(株)
(株)白糸ハイランドウェイ	比叡山自動車(株)
プリンスホテル(株)	西山ドライブウェイ(株)
東京高速道路(株)	近畿日本鉄道(株)
伊豆箱根鉄道(株)	新若草山自動車道(株)
芦ノ湖スカイライン(株)	芦有ドライブウェイ(株)
(株)グランビスタホテル&リゾート	
賛助会員 (11 社)	
(株)熊谷組	アイセイ(株)
(株)ガイアート	三井住友カード(株)
(株)オリエンタルコンサルタンツ	(株)三菱総合研究所
パシフィックコンサルタンツ(株)	国際航業(株)
八千代エンジニアリング(株)	(株)赤城商会
(株)アイ・エス・エス	
特別会員 (0 団体)	

(2) 事業の状況

1. 社員総会および理事会

1. 1 社員総会

今期は定時社員総会を1回開催し、2議案について決議した。

第1回社員総会	日時	平成31年4月5日(金) 15:00~17:00
	場所	東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル3階 紅梅の間
	決議事項	1. 第1期 財務諸表承認の件 2. 理事及び監事選任の件
	報告事項	第1期事業報告の内容報告の件
	その他	1. 日本観光自動車道協会設立報告会 2. 懇親会

1. 2 理事会

今期は定時理事会を4回開催し、全ての議案を決議した。

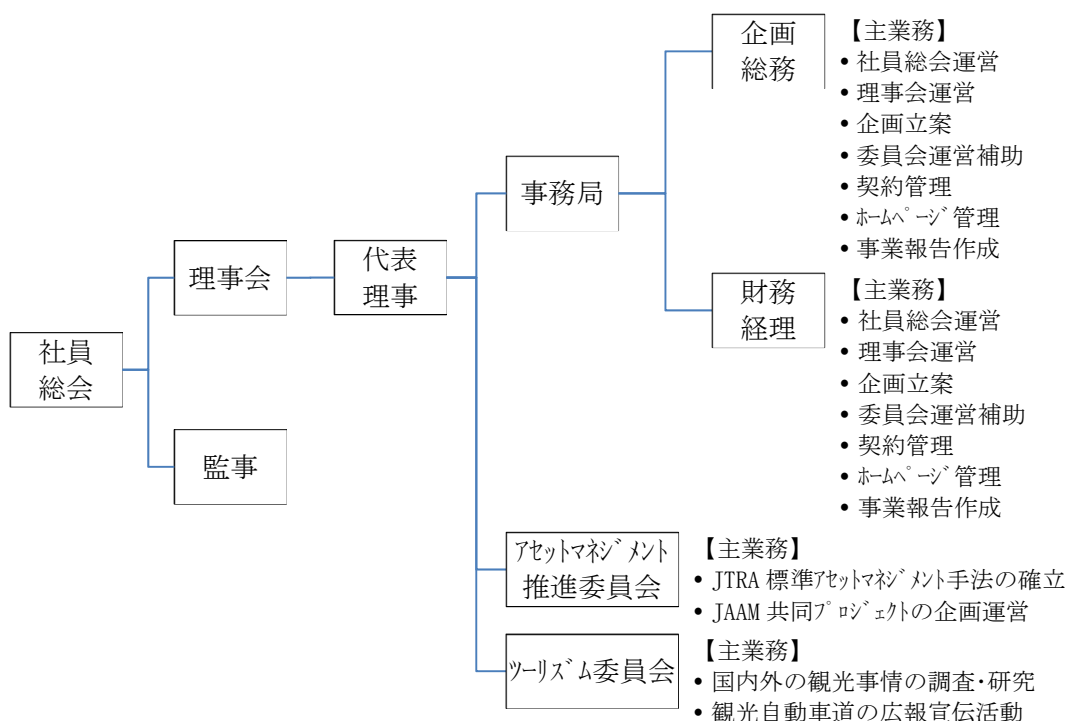
第1回理事会	日時	令和元年6月21日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17 品川センタービルディング A P品川アネックス Dルーム
	決議事項	1. 賛助会員7社入会の件 2. 第2期収支予算の件
	報告事項	1. 日本有料道路協会の資金残高の件
	その他	1. 研修会、講師：国土交通省自動車局鈴木調整官

第2回理事会	日時	令和元年8月23日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17 品川センタービルディング A P品川アネックス Aルーム
	決議事項	1. 賛助会員2社入会の件 2. 委員会設置及び事務局組織編制の件 アセットマネジメント推進委員会、ツーリズム委員会
	報告事項	1. 環境省との国立公園オフィシャルパートナーシップ締結について
	その他	1. 研修会、講師：国土交通省道路局松本室長

第3回理事会	日時	令和元年11月8日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P品川アネックス Aルーム
	決議事項	1. 賛助会員1社入会の件
	報告事項	1. 正会員各社の台風19号による被害状況について 2. " " の即位正殿の儀に伴うテロ対策について 3. アセットマネジメント推進委員会の活動状況について 4. ツーリズム委員会の活動状況について
	その他	1. 研修会、講師：日本アセットマネジメント協会戸谷事務局長

第4回理事会	日時	令和2年2月7日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P品川アネックス Aルーム
	決議事項	1. 第3期収支予算の件
	報告事項	1. 第2期予算執行状況と着地見込みについて 2. 第3期理事会・第2期社員総会の日程について 3. アセットマネジメント推進委員会の活動状況と第3期活動計画について 4. ツーリズム委員会の活動状況と第3期活動計画について
	その他	1. 研修会、講師：NSコーポレーション森田事業部長

【組織図】



2. 分科会

今期は、下記2委員会を組織し事業活動を展開した。

アセットマネジメント 推進委員会	役割	1. メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の確実な実施及び効率化、外部的な信頼構築に向けて、一般社団法人日本観光自動車道協会（以下、JTRA という）の標準的な様式（テンプレート）等の構築を図り、JTRA のアセットマネジメント手法を確立する。 2. 日本アセットマネジメント協会（JAAM）と締結した「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト（通称：インテリジェントロードプロジェクト IRP）」の企画運営。		
	委員長	谷口篤	委員	11名
	活動	1. 定期点検1巡目の調査取りまとめ 2. 第1回分科会（11月8日） 3. 第2回分科会（2月7日） 4. IRPの準備委員会（2月20日）		
ツーリズム委員会	役割	1. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、日本国内外の観光事情について調査・研究する。 2. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝活動を行う。		
	委員長	西崎一（代理堀信一郎）	委員	12名
	活動	1. 第1回分科会（10月16日） 2. ロゴマーク・キャッチフレーズの公募 3. 第2回分科会（11月8日） 4. 通行基準の実態調査と取りまとめ 5. 第3回分科会（2月7日）		

3. 事業内容

① 日本国内の観光事情についての調査・研究

公益社団法人日本観光振興協会（JTTA）との情報交換を通じて最新の観光動向を掴み協会の広報活動に繋げる活動を行った。

①-1 日本観光振興協会との情報交換

今期は主にツーリズム委員会の活動として、公益社団法人日本観光振興協会（JTTA）からのメールマガジンを会員各社へ配信し情報共有した。

①-2 環境省自然環境局との情報交換

環境省のキャンペーン「国立公園満喫プログラム」のオフィシャルパートナー企業登録に募集し、2019年7月26日に環境省第一会議室にて締結式に臨んだ。締結にあたり、下記の取り組みを確約している。

- 1) ホームページ相互リンクの掲出
- 2) ホームページの多言語化対応
- 3) 国立公園を軸とした推奨ルートの策定とホームページ掲出

2月7日付けで、2019年の活動報告ならびにその効果、2020年の取り組み予定について環境省に報告済みである。

② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究

主にアセットマネジメント推進委員会の活動として、一般社団法人日本アセットマネジメント協会との情報交換を通じて最新のアセットマネジメント動向を掴み、維持管理の効率化及び自動車道及び関連施設の長寿命化に繋げる目的で、今期は主に一般社団法人アセットマネジメント協会（JAAM）との間で共同事業実験の業務協定締結ならびに、相互のセミナーに講師の相互派遣などを行った。

②-1 「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト（通称：インテリジェントロードPRJ）」

6月21日付けで、観光自動車道を実験フィールドとして提供し、維持管理の効率化・高度化および長寿命化の先進技術の実証実験を行うプロジェクトの業務協定を締結し、来期のプロジェクト開始を目指し準備に入った。

②-2 セミナー講師の相互派遣

下記セミナーにおいて、相互に講師派遣を行った。

- 1) 6月21日「JAAM イブニングセミナー」

講師：幸野茂事務局長「JTRA での ISO55001 の紹介

講師：中川代表理事「JTRA の概要紹介ならびに今後の展開」

2) 11月8日「JTRA第3回研修会」

講師：戸谷有一 JAAM 事務局長「アセットマネジメントプロセスと成熟度評価」

③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申

10月1日施行の消費税率10%を控え、消費税の転嫁方法や時期について自動車局総務課企画室と協議調整を行う課程で、前年度提出した「自動車道の長寿命化計画」で積み上げた更新費用の料金転嫁方法について協議を重ね、8月30日付け国自総第140号「自動車道事業の使用料金の設定の認可及び変更の認可申請事案の処理方針について」の一部改正により、長寿命化計画の年数に応じて原価算定期間を算定できることになった。

④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力

④-1 自動車道便覧の発刊について

有料道路協会で編集・発刊していた「自動車道便覧」について、今後の取り扱いを自動車局総務課企画室と協議をし、本協会でも引き続き発刊をすることとなった。ただし、内容も実勢報告等に重点を絞って編集し、印刷物ではなく電子データとしてホームページに掲載して会員限定で閲覧・ダウンロード可能とすることとした。

④-2 自動車道事業者への調査依頼

今期は、下記2件の調査依頼があり、事務局で取り纏めて報告している。

- 1) 祝賀御列の儀に伴うテロ対策の実施状況
- 2) 新型コロナウイルス感染症の影響について

⑤ 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝

今期は主にツーリズム委員会の活動として、ホームページのリニューアルおよび多言語化対応について方針と内容を検討し、改修の準備を進めている。

⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

今期は前項①～⑤以外の活動は特に実施していない。

4. その他事業（外部組織との交流他）

環境省の国立公園満喫プロジェクトオフィシャルパートナー連携事務局からのメールマガジンにより、環境省とオフィシャルパートナー各社との交流の場としての各種セミナー、報告会等への案内を受けている。3月5日の令和元年度取組事例報告会&懇親会に出席予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防対策により中止となったが、今後同事務局からの交流会等には参加する予定である。

【第2期決算報告書】

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	6,330,064	4,427,035	1,903,029
前払費用	10,450	7,400	3,050
流動資産合計	6,340,514	4,434,435	1,906,079
2. 固定資産			
固定資産合計	-	-	-
資産合計	6,340,514	4,434,435	1,906,079
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	-	162,000	△ 162,000
未払法人税等	70,000	17,500	52,500
流動負債合計	70,000	179,500	△ 109,500
2. 固定負債			
固定負債合計	-	-	-
負債合計	70,000	179,500	△ 109,500
III 正味財産の部			
1. 基金	6,082,501	5,000,000	1,082,501
2. 一般正味財産	188,013	△ 745,065	933,078
正味財産合計	6,270,514	4,254,935	2,015,579
負債及び正味財産合計	6,340,514	4,434,435	1,906,079

正味財産増減計算書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

(単位：円)

	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
年会費収入	3,500,000	-	3,500,000
受取利息	50	4	46
経常収益計	3,500,050	4	3,500,046
(2) 経常費用			
社員総会費	483,700	-	483,700
理事会費	422,309	-	422,309
研修費	294,037	-	294,037
会費	320,000	-	320,000
賃借料	115,920	15,900	100,020
業務委託費	792,000	216,000	576,000
支払手数料	17,652	28,674	△ 11,022
広告宣伝費	9,271	113,402	△ 104,131
通信費	23,499	8,386	15,113
消耗品費	8,584	1,677	6,907
租税公課	10,000	-	10,000
経常費用計	2,496,972	384,039	2,112,933
当期経常増減額	1,003,078	△ 384,035	1,387,113
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
創立費	-	343,530	△ 343,530
経常外費用計	-	343,530	△ 343,530
当期経常外増減額	-	△ 343,530	343,530
税引前当期一般正味財産増減額	1,003,078	△ 727,565	1,730,643
法人税、住民税及び事業税	70,000	17,500	52,500
当期一般正味財産増減額	933,078	△ 745,065	1,678,143
一般正味財産期首残高	△ 745,065	-	△ 745,065
一般正味財産期末残高	188,013	△ 745,065	933,078
II 基金増減の部			
基金受入額	1,082,501	5,000,000	△ 3,917,499
当期基金増減額	1,082,501	5,000,000	△ 3,917,499
基金期首残高	5,000,000	-	5,000,000
基金期末残高	6,082,501	5,000,000	1,082,501
III 正味財産期末残高	6,270,514	4,254,935	2,015,579

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

① 基金

基金の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
基金	5,000,000	1,082,501	-	6,082,501

(注) 令和元年8月23日に日本有料道路協会から、基金として1,082,501円の拠出を受けています。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当事項はありません。

2. 引当金の明細


該当事項はありません。

令和2年4月2日

監査報告書

一般社団法人日本観光自動車道協会

監事 井上 健三 

監事 奥田 壮一 

私たち監事は、一般社団法人日本観光自動車道協会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第2期事業年度の事業報告、財務諸表及びこれらの附属明細書の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

理事会に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書を閲覧し、当法人の理事及び事務局に随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。
- (3) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上